

パブリック・コメント（11/6～11/27に実施）の結果

9名から延べ19件の御意見をいただき、主に以下の内容を修正した。

第4章（施策展開）

P33	人と環境にやさしい農業	● 環境創造型農業について、収益性が高まる取組を明記した方が良い。
P37	担い手	● 中小規模経営体へどのように支援していくか具体的に明記したほうが良い。
P44	林業生産基盤	● 重要林道路線、排水等の防災対策に踏み込んでどうか。
P45	資源循環型林業	● 「主伐・再造林低コスト普及モデル」について、もう少し踏み込んだ記載をしていただきたい。
P52	異業種連携	● 産地での一次処理や調理食品・加工食品の流通について追記すべきではないか。
P60	山地防災	● 流木・土石流対策について治山と森づくりの施策を両輪で推進していくメッセージが必要。
P68	おいしいごはんを おいしく食べよう 県民運動	● おいしいごはんを食べよう県民運動について、会員（団体・企業等）と連携した「全世代向け」の活動を行う旨を明記してはどうか。

記載を修正

➤ 収益性の向上に向け、コスト低減や付加価値向上につながる取組を推進
など

記載を修正

➤ 農業サービス事業体の取組拡大や経営継承の相談対応等による中小規模経営体への営農継続支援
など

記載を修正

➤ 既設林道の排水断面の拡大等の機能強化や適切な維持管理を推進
など

記載を修正

➤ 主伐・再造林低コスト普及モデルに示す低密度植栽や下刈の省力化などの手法により再造林を推進
など

記載を修正

➤ 県内食品関連企業が活用しやすい一次加工品の生産などを支援
など

記載を修正

➤ 人家に近接する渓流や、流木・土砂流出の危険性が高いスギ・ヒノキ人工林において、「山地防災・土砂災害対策計画」に基づき、森林整備と治山ダム等の渓流対策を両輪で重点的に推進
など

記載を修正

➤ 県民運動の強みである200を超える会員（団体、企業、行政等）と連携し、各世代に向けた啓発活動や情報発信
など